

宇都宮市立富士見小学校 第4学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○学びに向かう力については、「自分には、よいところがあると思う」の肯定的回答は86.6%で、県の平均を7.1ポイント上回った。これからも、自分のよさをとらえ、伸ばしていく指導の充実を図りたい。

○「人と話すことは楽しい」の肯定的回答は95.0%で、県の平均を2.4ポイント上回った。集団生活の中で人と積極的に関わることを好む児童が多く、良好な人間関係のもと学校生活を送れている児童が多いことがうかがわれる。

○「学校のきまりを守っている」の肯定的回答は95.0%で、県の平均を3.3ポイント上回った。今後も、学校の「生活や学習のきまり」について意識付けを図りながら、児童の規範意識を高めていきたい。

○自ら学ぶ力については、「本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ている」の肯定的回答は49.6%で、県の平均を9.5ポイント上回った。本やインターネットサイトなどから必要な情報を得て、調べ学習を進める力が身に付いてきている。しかし、「いいえ」の割合も30.3%となっているので、今後も、自分が知りたい情報をどのように得たいか、指導していきたい。

●「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」の肯定的回答は55.5%で、県の平均を17.1ポイント下回った。

●「家の人と将来のことについて話すことがある」の肯定的回答は54.6%で、県の平均を10.1ポイント下回った。

●「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している」の肯定的回答は65.5%で、県の平均を10.1ポイント下回っている。結果にとらわれすぎずに、目標に向かって努力をする過程が大切であることを理解させるとともに、児童の取組を十分に認め、失敗を恐れずに挑戦しようとする意欲を高めることができるよう支援していきたい。

●「クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の肯定的回答は66.4%で、県の平均を5.9%下回っている。学校生活全般で、友達の話や意見を最後まで聞く習慣を身に付けさせ、話し合う活動において自分の考えと比べながら「聞く力」の育成に努めていきたい。

●家庭学習力については、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」7.9ポイント、「家で、学校の授業の予習をしている」11.5ポイント、「家で、学校の授業の復習をしている」8.2ポイントという結果で、それぞれの肯定的回答の割合が県の平均を下回っている。宿題はしっかり行っている児童が多いが、自分で計画を立てて学習したり、授業の予習・復習を行ったりすることは苦手なことがうかがえる。やり方や範囲を提示したり、自主的に行っている児童のノートを紹介したりして、引き続き「宿題＋1」の家庭学習を啓発していきたい。

●教科について、国語「考えの理由が分かるように気を付けている」や算数「ふだんの生活の中で活用できないか考えている」はともに県の平均を約5ポイント下回っている。書く力や活用する力など、教科学習の中で重点的に取り上げ、指導を重ねていきたい。また、社会「分からない国名や地名があったら、インターネットや地図帳などを使って調べている」の肯定的回答は41.2%で県の平均を8.3ポイント下回っている。既習事項のみでなく、未知の学習への興味を持てるよう、社会の授業の中で児童にとって身近な時事問題を取り上げるなどして、社会に対しての興味・関心を高めていきたい。